

## 栃木県医療費適正化計画（3期計画）に係る 令和2（2020）年度の取組状況について

### 1 栃木県医療費適正化計画（3期計画）における目標について

3期計画（H30～R5）では、「県民の健康の保持・増進」及び「医療の効果的な提供の推進」に関して、各6項目の数値目標と施策目標を設定し、その目標達成に向け取組を推進している。

県では、計画の着実な実施のため毎年度進捗状況を管理し、国に報告・公表するとともに、今後の主な取組を見直すこととしている。

### 2 主な取組と次年度に向けた課題等について

#### （1）県民の健康の保持・増進

##### ア 保険者による保健事業の推進

【資料2-1 (1)①、②、③、④ア、④イ関連】

- ・特定健康診査・特定保健指導、がん検診の実施状況報告書の作成
- ・特定健康診査及びがん検診等の県民への普及啓発や関係者に対する各種研修等の実施  
（特定健診：人材育成研修3回、がん検診：個別ヒアリング5市町）
- ・保健事業アドバイザーの派遣  
（7市町7回、フィードバック会議2回、研修会1回）
- ・ICTを活用した特定保健指導モデル事業の実施  
（5保険者参加、実施者数：12名）
- ・取組の質の向上のため糖尿病重症化予防プログラムの改訂  
（作業部会：3回、3月改訂）

##### イ 市町による健康づくりや介護予防、予防接種に関する取組の推進【資料2-1 (1)⑥、⑦関連】

- ・とちぎフレイル予防アドバイザー・サポーター養成研修会の開催  
（養成者数：アドバイザー240名、サポーター197名）
- ・地域ケア会議の機能強化のため専門職等の派遣  
（5市4回、研修会は中止）
- ・ロコモアドバイザー養成講習会の開催  
（講習会：1回、養成数：22名）
- ・孫世代と一緒に楽しく体操ができる「ウィズまごダンス」を制作  
（YouTube「栃木県チャンネル」で配信）
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る各種会議の開催  
（県・広域連合・国保連合会共催による保健事業担当者向け会議：2回）
- ・定期予防接種相互乗り入れ事業の実施  
（25市町70,740件）

##### ウ 健康長寿とちぎづくりの推進

【資料2-1 (1)⑤、⑧関連】

- ・「健康長寿とちぎWEB」を活用した県民への情報発信  
（ページビュー数：496,344回）

- ・禁煙及び受動喫煙防止に向けた企業等への啓発活動  
(資料配付：10,000部)
- ・健康長寿とちぎづくり県民運動における健康長寿とちぎづくり推進大会の開催や重点プロジェクトの推進  
(大会は中止、食274団体・身体439団体・脳卒中326団体・フレイル334団体)
- ・とちまる健康ポイント事業の実施  
(参加者数：10,238人)
- ・とちぎ健康経営事業所認定制度の普及・登録拡大  
(認定数：165事業所)

#### <課題>

- 特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた取組の強化
- 限られた人員体制の中で効果的・効率的な事業を展開するための方策の検討
- 糖尿病重症化予防プログラムに基づく取組のより一層の推進
- 健康寿命の延伸を目指し、高齢者に対する保健事業の強化促進
- 働く世代の食事や運動等の生活習慣の改善

#### <令和3(2021)年度以降の主な取組>

- レセプトデータ等の分析による効果的・効率的な市町保健事業への更なる支援
- ICTを活用した特定保健指導等の推進
- 糖尿病重症化予防プログラムに係る保険者の効果的・効率的取組への支援
- 健康寿命の延伸を目指したフレイル等の予防の更なる強化
- とちぎ健康経営事業所認定制度の促進など保険者や企業と連携した健康づくりの推進

### (2) 医療の効果的な提供の推進

【資料2-1 (2)①関連】

#### ア 病床機能の分化及び連携並びに地域における医療・介護の体制整備の推進

- ・県内6構想区域における地域医療構想調整会議等の開催  
(調整会議各2回、病診会議各2回)
- ・在宅医療に係る関係機関の連携体制構築等の検討  
(栃木県在宅医療推進協議会：3回)
- ・在宅医療の機能別研修や地域包括支援センター職員研修の実施  
(機能別研修：1回・参加者数193名、職員研修：2回・参加者数96名)

#### イ 後発医薬品の安心使用の推進

【資料2-1 (2)②関連】

- ・こども医療費助成制度対象者に対する普及啓発  
(リーフレット配布数：100,000部)
- ・保険者協議会と連携しKDBデータ等を活用した使用状況等の分析
- ・県民への後発医薬品の知識に関する普及啓発  
(薬と健康の週間の実施：10月)

## ウ 医薬品の適正使用の推進

【資料 2-1 (2)③関連】

- ・かかりつけ薬剤師・薬局・お薬手帳の理解促進に向けた県民への普及啓発  
(リーフレットの作成：12,300部、テレビ・ラジオ、新聞等による広報：10月)
- ・かかりつけ薬剤師の人材育成  
(フィジカルアセスメント研修会：参加者数16名、在宅医療ファーストステップ研修会：参加者数25名等)
- ・健康サポート薬局制度の普及啓発  
(届出数：42薬局)
- ・重複・多剤服薬者等への保健指導の手引書を活用した市町への技術的支援  
(研修会：1回)

### <課題>

- 今後の医療需要の変化等を踏まえた医療機関の役割分担・連携に係る協議
- 在宅医療に関する施策の方向性の検討
- 後発医薬品の一層の理解促進に向けた検討と使用状況に係る分析
- 医薬品の適正使用の更なる推進

### <令和3(2021)年度以降の主な取組>

- 地域医療構想に沿った医療機能の分化・連携の取組みに対する継続的な支援の実施
- 地域医療構想調整会議等での議論の活性化に向けて、病床機能報告やDPCデータ等を活用した効果的な情報提供の実施
- 保健医療計画進捗状況に基づく、在宅医療連携体制の構築に向けた協議
- 後発医薬品の使用状況の要因分析と、重点的な啓発活動の実施
- 健康サポート薬局等を活用した医薬品の適正使用の更なる推進
- 重複・多剤服薬者等への保健指導推進事業の効果的な実施に向けた手引書の改訂